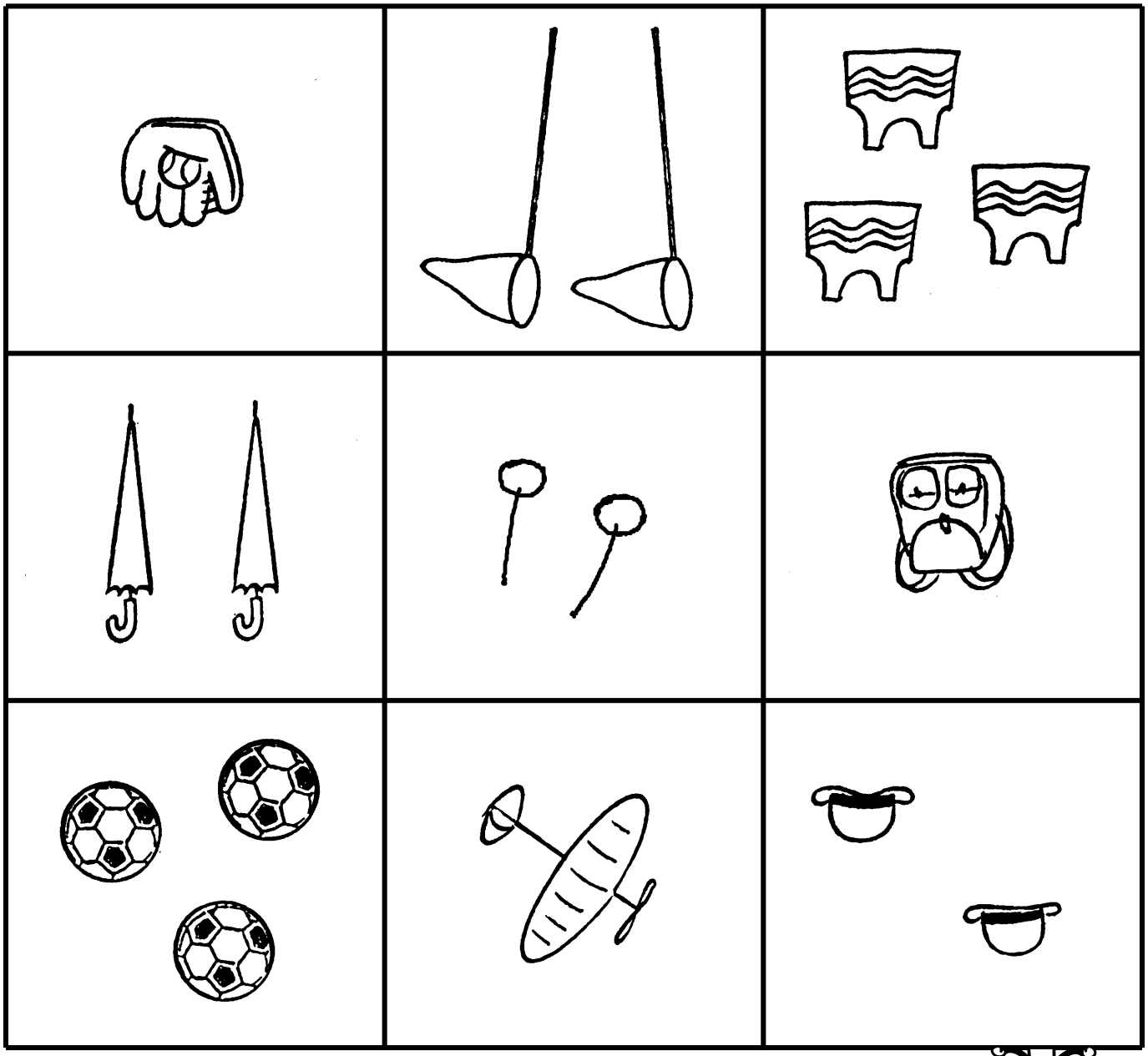
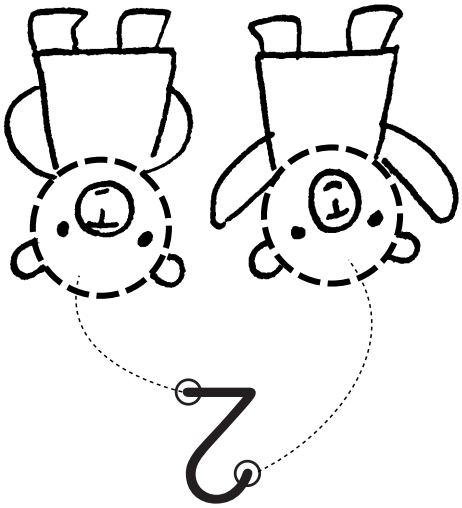
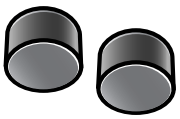




ふたごの こぐまは
なんでも 2つ。
たまが あうのは どれだ？

たまを つかって
あうのを さがそう。



1）子ぐまは双児でいつも2人だと話す。
2）子ぐまの顔に玉を置き、「ふたごの子ぐまにぴったり合うのはどれだろう」と、品物ごとに玉2個を1対1対応させ、あったものが2だという手続きを繰り返す。
3）数えるだけで分かっても、玉の操作をさせること。

a）玉が計数の仲立ちをする。すなわち推移律『A=B=Cなら A=C』の「B」の働きを玉が果たす。
b）数の理解の基本的な原理である1対1対応と推移律をプリミティブな形で体験する。
c）和数詞「ふたつ」の了解。

Date ／
Note
評